

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-5	中学校	社会	社会 (地理的分野)	第1・2学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
46 帝国	地理 046-72	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土		

1. 編修の基本方針

教育基本法第2条に関する総合的な基本方針

本教科書は、教育基本法第2条の「教育の目標」を達成するために、以下の考え方で編修にあたりました。

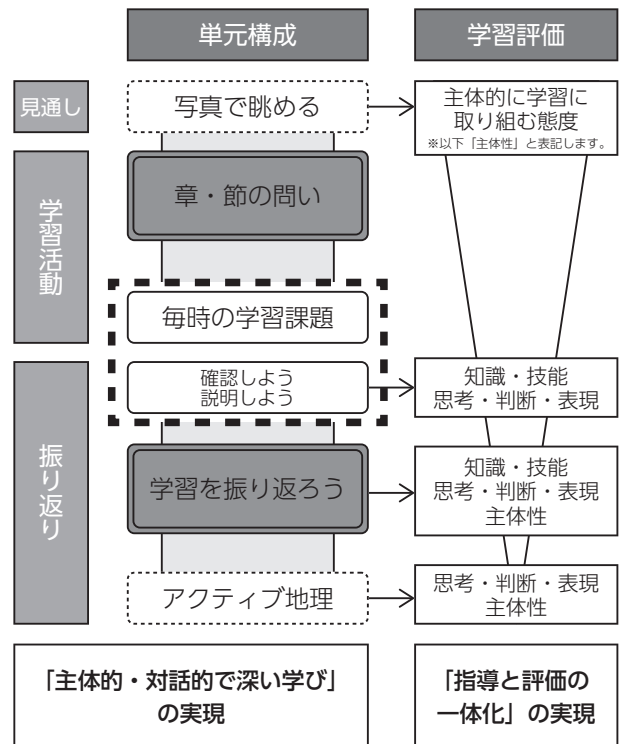
編修の基本理念

持続可能な社会の形成に参画する主権者となり、予測困難な時代を生き抜く力を育む

主体的・対話的で深い学び		
知識及び技能 持続可能な社会の形成のために必要な、地理的事象の意味・意義についての基礎的・基本的な知識や技能を身につけられる	思考力、判断力、表現力等 地理的な見方・考え方を働かせ、地域の特徴を多面的・多角的に考察して、持続可能な社会の形成に向けて考えを深め、表現できる	学びに向かう力、人間性等 地域の取り組みや人々の営みの工夫から国土理解・異文化理解を深め、持続可能な社会の形成に参画しようとする

問いを軸にした単元構成の構造化によって、「主体的・対話的で深い学び」と「指導と評価の一体化」を実現

- ・章・節・各本文ページそれぞれの冒頭では、学習する内容を問い（「章・節の問い」「毎時の学習課題」）で示し、生徒みずからが学習の見通しをもてるようにしています。また、それらの問いの対となるように、章・節・各本文ページの末尾に課題（「学習を振り返ろう」「確認しよう」「説明しよう」）を設けています。
- ・そして、それぞれの問いと課題では、協働的に学習する場面を設定しています。これらの構造化された単元構成と学習方法の工夫によって、「主体的・対話的で深い学び」が実現できます。
- ・それぞれの学習活動では、3つの資質・能力を特に育成する場面を設けることで、学習を見取ることができ、3つの観点に基づいた「指導と評価の一体化」が実現できます。



教育基本法第2条第1号に関する基本方針

理解しやすい本文と興味・関心を高める写真や資料により、意欲的に学びに向かう態度を育成

- ・第2部第2章（世界の諸地域）と第3部第3章（日本の諸地域）の各節の冒頭には、大判の写真から地域の様子をつかむ「写真で眺める」（全13か所）を設けています。また、第3部第3章（日本の諸地域）の各節の冒頭には、イラ

スト地図から地域を概観する「とびら」(全7か所)を設けています。生徒が興味・関心を高めて、意欲的に学びに向かえるようにしています。

- 地域の姿や人々の営みを映し出す写真を厳選して掲載し、学びに向かう意欲を高められるようにしています。また、自社で現地に向かい取材を行い、学習効果が高まる写真を追究しています。
- 背景や因果関係まで丁寧に書かれた本文と、本文に関連する豊富な資料により、生徒の知的好奇心を高められるようにしています。
- 巻頭5「教科書を活用した学び方」や巻頭7「地理的分野の学習の全体像」を設けて、教科書の基本的な流れや各特設ページやコラムの学習上の位置づけを示し、生徒による自主的・自発的な学習活動を促しています。

教育基本法第2条第2号に関する基本方針

「地理的な見方・考え方」を働かせて思考力・判断力を養う活動を通じて、自主・自律の精神をもって創造に取り組む資質を育成

- 章・節の末尾の「学習を振り返ろう」では、「地理的な見方・考え方」を働かせることで、「章・節の問い」の解決に向けて多面的・多角的に考察できるようにしています。また、地域の主題や中核考察に沿った写真や資料を選定し、協働的な学習を通して地域の姿をまとめる活動を取り入れるなど、自主・自律の精神を養えるようにしています。
- 各種写真・資料には、「資料活用」や「対話」を促すアイコンを適宜設けています。資料を読み解く着眼点をもとに考察したり、資料から生まれる問いを対話したりできるようにしています。また、「地図帳活用」を設けることで、地図帳の関連する内容から教科書での学習を深めることができるようにしています。
- 巻頭9「考えを整理する方法～思考ツールを活用しよう～」では、学習で有用な思考ツールを紹介しています。特設ページ「アクティブ地理」の課題解決的な学習や「学習を振り返ろう」のまとめる活動などでは、思考ツールを実際に活用することで、考えを整理したり、学習内容をまとめたりできるようにしています。

教育基本法第2条第3号に関する基本方針

現代社会が直面する課題の解決に向けて構想する活動場面を設け、社会参画に向けた態度と資質を育成

- 地球的・地域的課題の解決に向けて構想する「アクティブ地理」を4か所設けており、各種資料をもとにした生徒どうしの対話を通じて、主体的・対話的で深い学びを実現できるようにしています。現代社会が抱える課題に主体的に取り組むことで、日頃から社会の形成に参画する態度を育成できるようにしています。
- 第4部第1章(地域のあり方)では、地域にみられる課題の分析と、その解決に向けた構想の手順を丁寧に説明し、それぞれの生徒が設定した対象地域においても、地域にみられる課題の解決策を提案できるようにしています。

教育基本法第2条第4号に関する基本方針

人権や環境・エネルギー、防災などの現代社会の課題解決に向けた取り組みを豊富に掲載し、持続可能な開発目標(SDGs)の意義への理解を促進

- 「未来に向けて」のコラムを31か所、特設ページを9か所設けています。脱炭素社会への取り組みや自然災害への対策など、“持続可能な開発目標(SDGs)”に関わる題材を豊富に掲載することで、持続可能な社会の形成に向けて主体的に取り組む態度を育成できるようにしています。
- 第4部第1章(地域のあり方)でも、これまでの学習で得た知識・技能をもとに「地理的な見方・考え方」を働かせて、持続可能な社会のあり方を構想していけるようにしています。

教育基本法第2条第5号に関する基本方針

地誌的な内容を充実させ、正しい国土理解・適切な異文化理解を促進



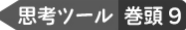


- 第2部第2章(世界の諸地域)および第3部第3章(日本の諸地域)の内容を充実させています。自然環境、生活・文化、産業をバランスよく扱うことで、正しい国土理解と適切な異文化理解を促せるようにしています。
- 第1部第2章3項(日本の領域の範囲とその特徴)では、日本の立場が国際法に則っていることを丁寧に解説したり、北方領土周辺の国境の移り変わりを地図で示したりすることで、正しい国土理解を促せるようにしています。
- 先述の「未来に向けて」では、アイヌ民族の文化や、平和記念都市である広島市などの題材も掲載し、伝統・文化の尊重を促し、国際社会の平和と安全を重んじる態度を育成できるようにしています。

2. 対照表

教育基本法第2条の各号に定められた教育の目標を実現するために、教科書全体を通して次の配慮をしています。

本書の構成	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1部第1章 世界の姿	緯度・経度など地理学習の基礎を、図版を用いてわかりやすく解説し、知識や教養を身につける意欲が高まるように配慮しています。(第1号)	2-13
	地図帳や地球儀に関わる技能を、作業指示等を工夫して丁寧に解説し、情報活用能力の基礎的・基本的な資質を育成できるようにしています。(第2号)	技能をみがく 1-5
第1部第2章 日本の姿	中学生がつまずきやすい時差などは、図版を工夫してわかりやすく解説し、知識や教養を身につける意欲が高まるように配慮しています。(第1号)	14-17 22-25
	時差の調べ方に関する技能は、作業指示等を工夫して丁寧に解説し、生活における基礎的・基本的な資質を育成できるようにしています。(第2号)	技能をみがく6
	日本の領域の範囲とその特色について、図版を用いて丁寧に解説しています。その際、日本の立場が国際法に則っていることや、歴史的な背景を理解することで、国際社会を尊重する姿勢や日本の国土への愛着を養えるように配慮しています。(第5号)	18-21 技能をみがく7
第2部第1章 人々の生活と環境	衣食住などの親しみやすい題材を使って、世界のさまざまな地域における暮らしぶりをいきいきと紹介することで、知識や教養を広げる意欲や、他国の人々を尊重する態度を養えるようにしています。(第1・5号)	26-42
	本書全体にわたり、地域の特色がわかり、人々の営みを映し出す写真資料を掲載しています。また、「技能をみがく」では、写真資料や主題図の読み取り方を丁寧に解説し、情報活用能力の基礎的・基本的な資質を育成できるようにしています。(第2号)	26-42 技能をみがく 8-11
第2部第2章 世界の諸地域	州(節)ごとに【写真で眺める(導入)→地域の大観(自然環境、歴史・文化・産業)など→関連する地域的課題→学習を振り返ろう】という構成にすることで、知識や教養をバランスよく身につけられるとともに、各州の特色をとらえ、適切に異文化を理解できるようにしています。(第1・5号)	45-127
	各州(各節)の冒頭には、導入として「写真で眺める」を設けることで、興味・関心を喚起するとともに、学習内容への見通しをもてるように配慮しています。(第1号)	46-47 106-107 など
	生活をより豊かにするために工夫し努力する人々の姿や、文化の継承と創造に努力する人々の姿を、コラム「声」や写真で紹介することで、勤労を重んじ、伝統や文化を尊重する態度を、養えるようにしています。(第2・5号)	76、123 など
	実社会の人々が連携・協働して、課題の解決に取り組む姿を紹介したコラム「未来に向けて」などにより、環境を保全し、生命を尊び、持続可能な社会を目指す態度を養えるようにしています。(第3・4・5号)	61、95 など
	各節末尾の「学習を振り返ろう」では、地域の主題に沿った写真をみずから選定し、協働的な学習を通して地域の姿をまとめる活動を取り入れるなど、自主・自律の精神を養えるようにしています。(第2・3号)	62-63 104-105 など
第3部第1章 地域調査のしかた	「地理的な見方・考え方」を働かせて、生徒が学校周辺の地域調査をできるようにしています。これにより、学習で習得した知識・技能と実社会との関わりを実感できるため、知識や真理を求める態度を養えるようにしています。(第1・3号)	128-139
	調査の手法、調査結果の分析に加え、地形図の使い方にも触れることで、情報活用能力の基礎的・基本的な資質を育成できるようにしています。(第2号)	技能をみがく 12-18

第3部第2章 日本の地域的特色	日本全体としての地域的特色を適切に理解するために、資料をバランスよく掲載することで、正しい国土理解を促しています。(第1・4・5号)	140-165
	ハザードマップの読み取り方など、防災に関わる技能を習得できる作業を設けることで、生徒自身や周囲の人々の生命を守るための情報活用能力の基礎的・基本的な資質を育成できるようにしています。(第2・4号)	146-151
第3部第3章 日本の諸地域	地方(節)ごとに【とびら・写真で眺める(導入)→自然環境→注目する視点からみた生活・文化、産業、地域にみられる課題など→学習を振り返ろう】という構成にすることで、知識や教養をバランスよく身につけられるとともに、各地方の特色をとらえ日本の国土について、正しい理解ができるようにしています。(第1・5号)	166-282
	各地方(各節)の冒頭には、導入として「とびら」「写真で眺める」を設けることで、興味・関心を喚起するとともに、学習内容への見通しをもてるよう配慮しています。(第1号)	167-169 217-219 など
	生活をより豊かにするために工夫し努力する人々の姿や、文化の継承と創造に努力する人々の姿を、コラム「声」や写真で紹介することで、勤労を重んじ、伝統や文化を尊重する態度を、養えるようにしています。(第2・5号)	177、222 など
	実社会の人々が連携・協働して、課題の解決に取り組む姿を紹介したコラム「未来に向けて」などにより、環境を保全し、生命を尊び、持続可能な社会を目指す態度を養えるようにしています。(第3・4・5号)	182、248 など
	各節末尾の「学習を振り返ろう」では、地域の中核考察に沿った写真や資料をみずから選定し、協働的な学習を通して地域の姿をまとめる活動を取り入れるなど、自主・自律の精神を養えるようにしています。(第2・3号)	180-181 212-213 など
第4部第1章 地域のあり方	「学ぶにあたって」を設けて、第2部(世界のさまざまな地域)と、第3部(日本のさまざまな地域)とが、第4部(地域のあり方)の学習と相互に関係していることを示しています。地域のよりよい発展を目指していくために、地理的分野の学習が生かせることを示し、社会の発展に主体的に寄与する態度を養えるようにしています。(第3号)	283
	地域の課題の分析と、その解決に向けた構想に取り組むことで、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるようにしています。(第3・4号)	284-293
学びを深める工夫	特に意を用いた点や特色	該当箇所
	学習内容に応じた主題とパフォーマンス課題を設定した、「アクティブ地理」を設けています。話し合いなどのさまざまな対話的な活動を通じて、課題に粘り強く向き合い、さまざまな立場を踏まえて、合意形成を目指す態度を身につけることができます。(第1・3号)	150-151 281-282 など全4テーマ
	持続可能な社会の形成の事例を、「未来に向けて」で取り上げています。「環境・エネルギー」「防災」「人権・多文化」「平和・安全」「情報・技術」「伝統・文化」の6テーマを地理・歴史・公民の3分野で扱い、SDGsの達成に向けて主体的に取り組む態度を身につけることができます。(第3・4・5号)	巻頭1-2など 特設9テーマ 203などコラム 全31か所
	学習に必要な技能を習得する「技能をみがく」を設けています。基礎的・基本的な技能を習得し、情報を収集・分析することができます。(第2号)	12、27など 全21か所
	地域の新しい動きや取り組みを紹介する「地理プラス」を設け、生徒の興味をかき立てるとともに、学習内容の理解を深めることができます。(第1号)	83、273など 全24か所
	周囲との対話を促す「対話アイコン」を設けています。話し合い活動を通じて、自身の考えをより深めるとともに、他者の意見を尊重する態度を身につけることができます。(第1・3号)	152、225 など随所
	社会的な見方・考え方を働かせるための視点を示す「見方・考え方アイコン」を設け、課題解決に必要な思考力を深めることができます。(第1号)	62、180など 全21か所

 資料活用	「資料活用アイコン」を設け、統計や写真から情報を読み取る力を、日々の学習で身につけることができます。(第2号)	49、206 など随所
 解説	「解説」を側注欄に設けています。重要な概念やわかりにくい用語について丁寧に説明しているため、学習内容の理解を深めることができます。(第1号)	52、228 など全53か所
 思考ツール 巻頭9	学習に有用な思考ツールを巻頭9で丁寧に紹介し、話し合い活動の場面でも積極的に使用しています。思考ツールを効果的に用いて、課題解決に取り組む力を身につけることができます。(第2号)	巻頭9、181 など随所
 地図帳活用	地図帳の活用を促す「地図帳活用」を設けています。地形の読み解きや主題図の効果的な活用により、深い学びにつなげることができます。(第1号)	84、121 など随所
 写真で眺める アジア州	大判の写真から地域を概観する「写真で眺める」を設けています。興味・関心を高めて、意欲的に学びに向かうことができます。(第1号)	106-107 168-169 など全13か所

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

1. すべての生徒が使いやすいユニバーサルデザインに基づいた編修

- ・特別支援教育の専門家からの助言をもとに、図版に背景色や囲み線をつけるなどして図版と本文を区別しやすくするなど、**インクルーシブ教育**へ配慮した編修を行っています。
- ・文字は、読みやすい**ユニバーサルデザインフォント**を採用しています。また、重要語句を示すゴシック体の太さやルビの見やすさにも工夫を凝らしています。
- ・配色は、色覚特性に配慮した**識別しやすい色づかい**となるように工夫しています。また、図版に模様や線、記号などを使用することによって、**色以外からも情報を読み取れる**ようにしています。
- ・学習者用デジタル教科書を発行し、ふりがなや音読、色の反転などの機能を付加しています。

2. 生徒の個別最適な学びを支援する QR コンテンツ

- ・学習内容の習得や生徒の調べ学習を支援するコンテンツを多数用意し、**個別最適な学び**を支援します。
- ・教科書の学習内容とリンクした「見通しスライド」「図解アニメーション」や、「学習を振り返ろう」「アクティブ地理」のワークシートなどで、**学習内容の定着**を支援します。
- ・「用語解説」「統計資料」「地域見える化 GIS ジオグラフ」のほか、「NHK for School」や「リンク集」など、生徒が**みずから学習内容を深める**際の足がかりとなるコンテンツを用意しています。
- ・そのほか「他分野教科書リンク」「小学校の振り返り」「教科書を活用した学び方」「思考ツール・白地図」を用意しています。

3. 指導しやすさ・学びやすさ向上のための取り組み

- ・小学校での学習や他分野・他教科と関連のある題材に「小学校・歴史・公民・他教科の関連」や「小・歴・公の関連アイコン」を示し、既習事項を踏まえて、物事を**多面的・多角的に捉える**足がかりを設けています。また、分野間・教科間での**カリキュラムマネジメント**を実施する指標となるようにしています。
- ・**1 見開き 1 時間**での授業を原則とし、適切な分量で学習計画を立てやすくしています。「学習を振り返ろう」も含めて、総授業時間数 110 時間（標準時間 115 時間）としています。
- ・単元が進むに従い、学習課題やまとめで問う内容をより高度にするなど、発達段階に配慮しています。
- ・男女のイラストで役割を限定しないなど、**ジェンダーの固定観念をもたない**ように配慮しています。

4. 使いやすく、環境に配慮した印刷・製本の工夫

- ・紙は軽くて丈夫で、写真や図版が鮮明にうつるものを使用しています。
- ・再生紙を用いた紙と国産米の米ぬかからつくられるインクを使用し、環境への配慮をしています。
- ・堅牢な造本方式を採用し、使用期間中に壊れることがないようにしています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-5	中学校	社会	社会 (地理的分野)	第1・2学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
46 帝国	地理 046-72	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

これからの予測困難な時代に対応し、持続可能な社会の形成に参画する力を育むために、この教科書では、特に以下の点に意を用いて編修しています。

特色1 「主体的・対話的で深い学び」と「指導と評価の一体化」を実現する工夫

1. 「主体的・対話的で深い学び」と「指導と評価の一体化」を実現する単元と問いの構成

①学習の見通しと振り返りに最適な単元構成

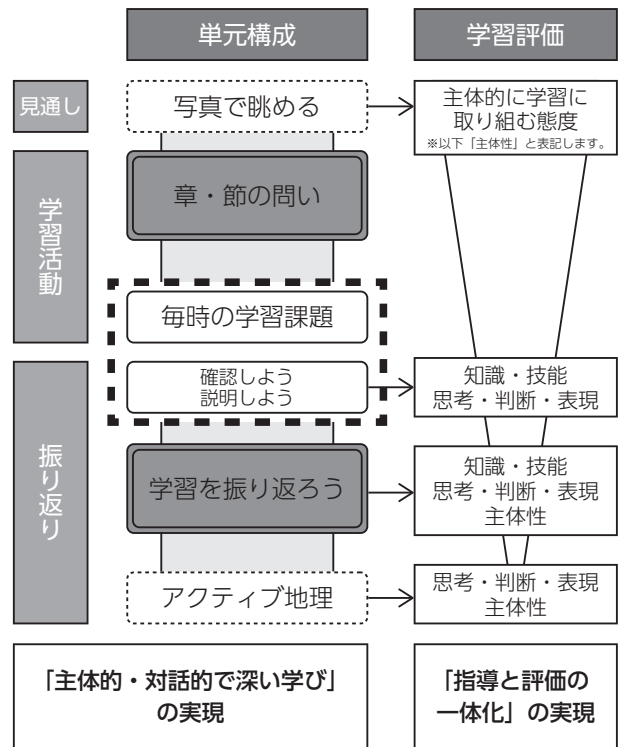
・章・節を基本単元とし、学習の見通しと振り返りがしやすい単元の構成にしています。学習の見通しと振り返りを通して、「主体的・対話的で深い学び」と「指導と評価の一体化」を実現できます。

学習の見通し 単元のはじめに設定した「写真で眺める」では、大判な写真から地域を概観する学習活動を通して、単元の学習に対する興味・関心を高め、学習の見通しを立てることができます。

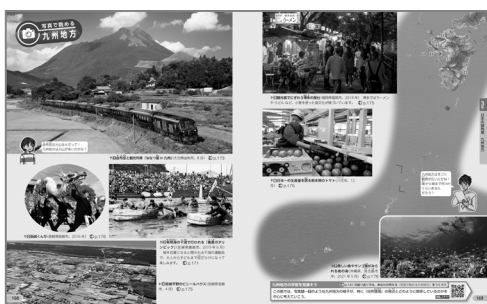
学習の振り返り 単元のまとめとして設定した「学習を振り返ろう」では、思考ツールを活用した「対話的な学び」を通して、「章・節の問い」に取り組み、単元の学習を振り返ることができます。

「主体的・対話的で深い学び」の実現 「写真で眺める」を活用し、学習の見通しを立てて学びを進めていくことで、「主体的な学び」を実現できます。また、「学習を振り返ろう」を活用し、思考ツールや話し合い活動を通して「対話的な学び」や「深い学び」を実現できます。

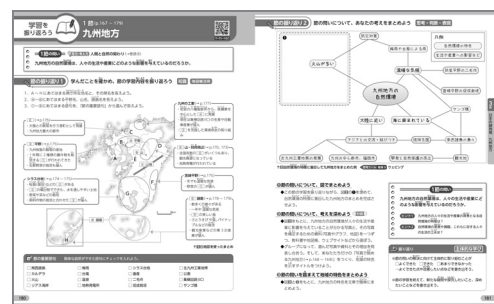
「指導と評価の一体化」の実現 「写真で眺める」や「学習を振り返ろう」を活用して「章・節の問い」に取り組むことで、習得した「知識・技能」やそれを活用した「思考・判断・表現」を評価できます。また、単元を通した見通しと振り返りによって、みずからの学びを調整し、粘り強く取り組む「主体的に学習に取り組む態度」を見取ることができます。



▲見通しと振り返りを軸とした本書の単元構成と学習評価との対応



▲写真で眺める 九州地方 (p.168-169)



▲学習を振り返ろう 九州地方 (p.180-181)

特色2 社会への興味・関心を広げて、学習内容の理解につなげる工夫

1. イラスト地図や写真資料で地域を概観し、興味・関心を高める「とびら」「写真で眺める」

イラスト地図から地域を概観する「とびら」や大判の写真から地域の様子をつかむ「写真で眺める」を設けています。単元の学習内容と生活経験・既習事項を結びつけることで、生徒が興味・関心を高めて、意欲的に学びに向かうことができるようにしています。



▲「とびら」 関東地方 (p.233)



▲「写真で眺める」 関東地方 (p.234-235)

2. 毎時の授業の知識を定着させる本文ページ

本文ページは、見開き1授業時数とし、110時数分を設定しています。年間の授業時数の中で無理なく学習を進めることができます。また、構造化された紙面構成によって、学習内容への理解を深め、知識を着実に定着できます。

興味・関心を高める導入資料 学習内容につながる具体事例です (①)。

学習内容を見通す学習課題 見開き全体の学習内容を見通す問いです (②)。

わかりやすい本文記述 背景や因果関係まで丁寧に書かれている本文です (③)。

知識と理解を深める問い 重要事項を確認できる「確認しよう」、言語活動で学習内容を振り返る「説明しよう」を設定しています (④)。



▶本文ページの紙面構成 (p.60-61)

特色3 多面的・多角的な見方を養い、異文化理解・国土理解を促進する工夫

1. さまざまな視点で「地理的な見方・考え方」を働かせられる豊富な資料

「地理的な見方・考え方」を働かせ、変化や関連性をとらえられるようにしています。

比較を意識したレイアウト 関係性や違いを考察しやすいよう、写真や地図、雨温図などの位置を固定化しています。

比較を意識した資料 同じ地点の異なる時期（季節や時代）の写真に掲載しています。また、写真に関連した学習内容を深める資料も豊富に設置しています。

現地人の「声」 生活を豊かにするために工夫し努力する人の姿など、さまざまな立場の人の考えを紹介するコラム「声」を22か所設置しています。

声 ルーマニアからドイツに移住した人の話

ルーマニアがEUに加盟して、EU域内なら好きな所で働けるようになったので、家族と一緒にドイツに移住して、電気機械の組み立て工場に働いています。同じような仕事でも、ルーマニアよりドイツのほうが賃金が4倍も高いので、若い人を中心にドイツで働きたいと考えるルーマニア人はたくさんいます。

▲「声」 (p.76)



▲比較を意識したレイアウト 熱帯 (p.30-31)



▲比較を意識したレイアウト 乾燥帯 (p.32-33)



▲比較を意識した資料 (p.49)

特色4 持続可能な社会に向けた行動を促す工夫

1. 地域的・地球的課題の解決に取り組む視点を養う「未来に向けて」

- 特設ページと本文ページのコラムに設定している「未来に向けて」では、未来の社会をつくるための具体的な取り組みを確認できます。持続可能な社会の実現に向けて、学びに向かう力を育成できます。
- 歴史的分野・公民的分野と共通する「環境・エネルギー」「防災」「人権・多文化」「平和・安全」「情報・技術」「伝統・文化」の6テーマを設定しています。
- 巻頭では、SDGsの17の目標と、その実現に向けた各地の取り組みを紹介しています。

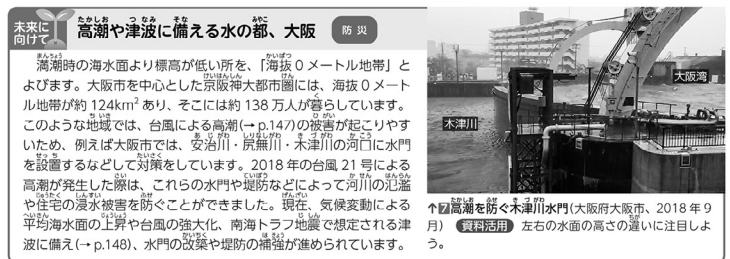


▲特設ページ「未来に向けて」(巻頭1-2)

▼コラム「未来に向けて」(p.203)

2. 地域をよりよくするために構想する「地域のあり方」

- 地理的分野のまとめとして、持続可能な社会の実現に向けた探究活動に取り組むことができます。テーマ設定、実態調査、課題の考察、解決策の構想、解決策の提案の一連の流れと方法を具体的に示しているため、無理なく実践できます。
- 地域の課題の分析と、その解決に向けた構想に取り組むことで、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるようにしています。



▲「地域のあり方」(地域の魅力と課題を分析・考察しよう) (p.288-289)

特色5 地図帳の活用を通して、教科書の学びを深める工夫

1. 学びを深める「地図帳活用」

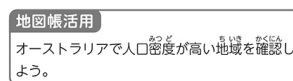
- 授業の際にも自学自習の際にも使いやすい「地図帳活用」を56か所設置しています。地図帳との連携を図ることで、位置や分布、他地域との結びつきなどを地図上で捉え、「深い学び」につながるようにしています。



▲「地図帳活用」(p.121)

2. 実践的なスキルが身につく「技能をみがく」

- 「技能をみがく1・2・4」では、地理的分野に必要な地図帳を活用する技能を身につけられるようにしています。ほかにも、略地図の描き方、写真や主題図の読み取り方、グラフのつくり方、地形図の使い方、プレゼンテーションや展示発表のしかたなど、幅広い技能を習得できるようにしています。



▲「技能をみがく」(p.12)



▲「技能をみがく」(p.12)

特色6 編修上の工夫

1. すべての生徒が使いやすいユニバーサルデザインに基づいた編修

- 特別支援教育の専門家からの助言をもとに、図版に背景色や囲み線をつけるなどして図版と本文を区別しやすくするなど、インクルーシブ教育へ配慮した編修を行っています。
- 文字は、読みやすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。また、重要語句を示すゴシック体の太さや

ビの見やすさにも工夫を凝らしています。

- 配色は、色覚特性に配慮した**識別しやすい色づかい**となるように工夫しています。また、図版に模様や線、記号などを使用することによって、**色以外からも情報を読み取れる**ようにしています。
- 学習者用デジタル教科書を発行し、ふりがなや音読、色の反転などの機能を付加しています。

2. 生徒の個別最適な学びを支援する QR コンテンツ

- 学習内容の習得や生徒の調べ学習を支援するコンテンツを多数用意し、**個別最適な学び**を支援します。
- 教科書の学習内容とリンクした「見通しスライド」「図解アニメーション」や、「学習を振り返ろう」「アクティブ地理」のワークシートなどで、**学習内容の定着**を支援します。
- 「用語解説」「統計資料」「地域見える化 GIS ジオグラフ」のほか、「NHK for School」や「リンク集」など、生徒が**みずから学習内容を深める**際の足がかりとなるコンテンツを用意しています。
- そのほか「他分野教科書リンク」「小学校の振り返り」「教科書を活用した学び方」「思考ツール・白地図」を用意しています。

3. 指導しやすさ・学びやすさ向上のための取り組み

- 小学校での学習や他分野・他教科と関連のある題材に「小・歴・公のアイコン」や「小学校・歴史・公民・他教科の関連」を示し、既習事項を踏まえて、物事を**多面的・多角的に捉える**足がかりを設けています。また、分野間・教科間での**カリキュラムマネジメント**を実施する指標となるようにしています。
- **1 見開き 1 時間**での授業を原則とし、適切な分量で学習計画を立てやすくしています。「学習を振り返ろう」も含めて、総授業時間数 110 時間（標準時間 115 時間）としています。
- 単元が進むに従い、学習課題やまとめで問う内容をより高度にするなど、発達段階に配慮しています。
- 男女のイラストで役割を限定しないなど、**ジェンダーの固定観念をもたない**ように配慮しています。

4. 使いやすく、環境に配慮した印刷・製本の工夫

- 紙は軽くて丈夫で、写真や図版が鮮明にうつるものを使用しています。
- 再生紙を用いた紙と国産米の米ぬかからつくられるインクを使用し、環境への配慮をしています。
- 堅牢な造本方式を採用し、使用期間中に壊れることがないようにしています。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
第 1 部 世界と日本の地域構成 第 1 章 世界の姿 第 2 章 日本の姿	A A (1) ① A (1) ②	p.2-25 p.2-13 p.14-25	8
第 2 部 世界のさまざまな地域 第 1 章 人々の生活と環境 第 2 章 世界の諸地域 第 1 節 アジア州 第 2 節 ヨーロッパ州 第 3 節 アフリカ州 第 4 節 北アメリカ州 第 5 節 南アメリカ州 第 6 節 オセアニア州	B B (1) B (2) B (2) ① B (2) ② B (2) ③ B (2) ④ B (2) ⑤ B (2) ⑥	p.26-127 p.26-44 p.45-127 p.46-63 p.64-79 p.80-91 p.92-105 p.106-117 p.118-127	41
第 3 部 日本のさまざまな地域 第 1 章 地域調査のしかた 第 2 章 日本の地域的特色 第 3 章 日本の諸地域 第 1 節 九州地方 第 2 節 中国・四国地方 第 3 節 近畿地方 第 4 節 中部地方 第 5 節 関東地方 第 6 節 東北地方 第 7 節 北海道地方	C C (1) C (2) C (3) C (3) ① C (3) ④ C (3) ⑤ C (3) ③ C (3) ② C (3) ⑤ C (3) ①	p.128-282 p.128-139 p.140-165 p.166-282 p.167-182 p.183-198 p.199-216 p.217-232 p.233-248 p.249-264 p.265-281	56
第 4 部 地域のあり方 第 1 章 地域のあり方	C C (4)	p.283-293 p.283-293	5

計 115 時間（予備 5 時間含む）